

土地利用について市民参画の機会とは？



泡瀬人工島のより効果的な土地利用に向けて、市民の参画による議論を大いに歓迎します。

- 泡瀬人工島は、海に開かれ、海を生かしたまちづくりをやっていこうという**地域の夢からスタート**した計画です。元々、東部海浜開発計画として20年あまり前から地元で構想され、議論が重ねられ、ようやく実現に漕ぎつけたもので、「**地域が主役**」という**精神**は今でも変わりありません。
- 最近では、平成15年度から、沖縄市の主導で市民の参加による「みなとまちづくり懇談会」を開催し、様々な土地利用の可能性を議論しています。また、平成17年度からは、沖縄市全自治会を対象として自治会単位での事業説明会及び意見交換会を実施しています。

これまでに出されたアイデアの例

干潟や砂浜など特色ある海の環境を生かした観光や環境利用学習の場、塩田の復元など地域の歴史や文化を伝えるミュージアム空間、健康や長寿をテーマとした癒しのある滞在空間、スポーツをテーマとした活力あふれる空間、熱帯性大型海草の研究等本格的な環境研究フィールドを提供する場など。

